修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　黒田武信
〒102-0074
東京都千代田区九段南
2－6－8九段南ビル
☎03（5275）6651
http://shugakuryoko.com
e-mail shuryo@h2.dion.ne.jp

財団法人全国修学旅行研究協会（全修協）は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団です。

古都で味わう百人一首もまた格別（千葉県流山市立南部中学校）

『第2回修学旅行ホームページコンクール』開催

―大賞に文部科学大臣奨励賞―

今回から文部科学省も後援

学校でのインターネット接続が進展し、修学旅行にもI・Nを利用した計画立案や、生徒の事前学習や班別学習の情報収集、学校と家庭、学校と旅行先との連絡、修学旅行のまとめとしてHPを作成する等、その活用はますます広がってきている。(財)全国修学旅行研究協会は昨年度、学校による修学旅行の掲載ホームページを対象に、優れた取り組み事例を募集・顕彰し、広く全国の学校に向けて紹介しようと、「修学旅行ホームページコンクール」を開催し全国391校の小・中・高等学校の応募があり大きな反響を呼んだ。

今年度、第2回の「修学旅行ホームページコンクール」には文部科学省の後援及び大賞に文部科学大臣奨励賞が交付される。開催の概要は以下の通り。9月から応募受付をスタートし全国から多数の応募が期待されている。

一．目的

(一)　全国の学校で実施された修学旅行内容から、今後、他の学校が修学旅行の計画・実施に取り組む上で役立つ、優れた実施事例を紹介することにより、我が国の修学旅行の総合的発展・充実のために寄与することを目的とする。

(二)　各学校作成のホームページに掲載された修学旅行を、インターネットを通じて募集・顕彰・紹介することにより、学校でのインターネット活用のさらなる向上を促進する。

(三)　全国修学旅行研究協会が、公益法人として、修学旅行の情報ネット〝の中心的な役割を果たすことにより、学校間における情報の収集、交換の円滑化を図る。

二．実施要領

(一)　主催
財団法人全国修学旅行研究協会

(二)　後援
文部科学省ほか

(三)　募集
①対象：全国の国・公・私立小・中・高等学校の学校ホームページに掲載された修学旅行に関する内容を募集する。
②要件：平成13～14年度中に実施された修学旅行
③期間：平成14年9月1日～11月30日の3カ月間
④方法：募集は、原則としてインターネット上での申し込みによる。全修協ホームページ『修学旅行ドットコム』内の「修学旅行ホームページコンクール募集要項」に添付の申込書フォームに必要事項を記入のうえ送信。【URL】http://shugakuryoko.com（修学旅行ドットコム）

(四)　審査
財団法人全国修学旅行研究協会が有識者による審査委員会を設け、審査を行う。
審査結果発表　平成15年2月末日

(五)　表彰等
『修学旅行ドットコム』及び『修学旅行新聞』への掲載のほか、受賞校には直接通知を行う。
①表彰内容：文部科学大臣奨励賞（大賞）1点、部門別最優秀作品賞3点（高等学校・中学校・小学校各部門1点ずつ）、入選作品数点
②優秀作品の公開：修学旅行の最新事例として、『修学旅行ドットコム』上にリンクし紹介を行う。

◇問い合わせ先
財団法人全国修学旅行研究協会『修学旅行ホームページコンクール実行委員会』
TEL：03-5275-6651
FAX：03-5275-6653
E-mail:shuryo@h2.dion.ne.jp

修学旅行ドットコムを全面リニューアル

―修学旅行に関する総合サイトへ―

(財)全国修学旅行研究協会は、修学旅行ドットコムで親しまれている全修協ホームページを7月1日をもってHPには修学旅行専用電車の運営による安全・快適な連合体輸送を実施している、関東地区公立中学校修学旅行委員会、東海三県中学校修学旅行委員会、近畿地区公立中学校修学旅行委員会の活動内容を紹介する特設ホームページもオープンしている。

様々な研究・調査データ、関連情報をリンクでネット化した総合サイトを目指している。

また、同HPには修学全面リニューアルした。旅行専用電車の運営に新しいHPは、特色ある学校の実施事例や体験学習の内容別サイトなど、修学旅行をはじめ教育旅行に関わる

〔お知らせ〕
茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉
愛知・岐阜・三重
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
　} 各県公立中学校各位

修学旅行委員会特設HPの開設について

この度、関東地区公立中学校修学旅行委員会（関修委）、東海三県中学校修学旅行委員会（東海三県修旅委）、近畿地区公立中学校修学旅行委員会（近公修委）では、各地区修学旅行委員会の活動内容の紹介、修学旅行専用列車の計画輸送や関連情報を掲載した特設HPをオープンしたのでお知らせします。
URL：shugakryoko.com 内、修学旅行委員会をクリック

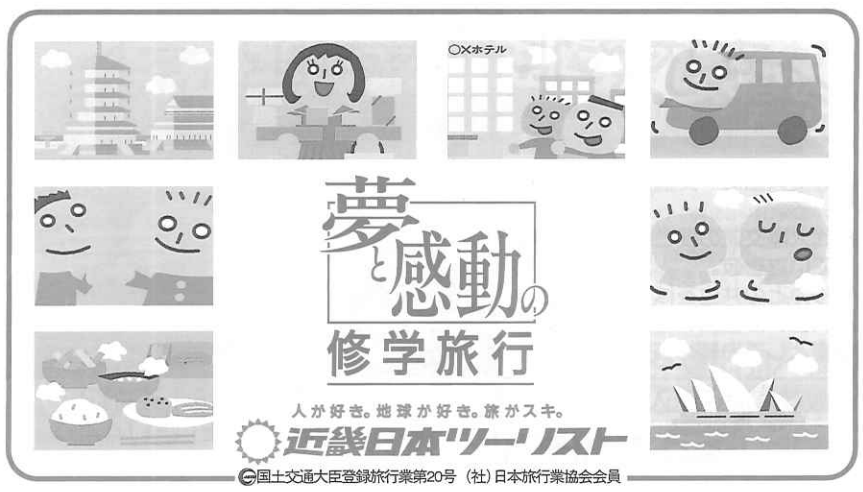
≪関修委のページ≫
○活動内容の紹介
・会議報告　・事業報告　・専門委員会の活動報告
○修学旅行専用列車
・新幹線割付表（平成15年度）
・平成16年度修学旅行専用列車の利用申込みについて
・JRからの関連ニュース
○会議等の開催予定

≪東海三県のページ≫
○活動内容紹介
・会議報告　・事業報告
○修学旅行連合体輸送列車（計画輸送）
・新幹線割付表（平成15年度）
・連合体新幹線列者の申込みにあたってのお願い
・JRからの関連ニュース
○会議等の開催予定

≪近公修委のページ≫
○活動内容紹介
・会議報告　・事業報告　・運営委員会による活動報告
○活動内容紹介
・会議報告　・事業報告
○修学旅行連合体輸送列車（計画輸送）
・新幹線割付表（平成15年度）
・連合体新幹線列者の申込みにあたってのお願い
・JRからの関連ニュース
○会議等の開催予定

風紋

私の小・中・高等学校に在籍していた当時、それぞれに同世代の仲間との一泊二日、二泊三日、三泊四日を過ごした修学旅行。楽しい思い出として、今も心の中に深く刻み込まれている。そのことが先の人生においていろいろと関わって、今があるのだと思う。▲三度の修学旅行のみで、一人一人の旅が終わってしまうのではなく、それぞれが感じ、心に残った旅があったはずであり、旅に出ることで人生の広がり、人との結びつきが深まっていくものと信じている。▲ぜひとも子どもたちに旅の楽しさを体感させられる企画を創り出していくことが、私自身の責任であると思う。▲時代が移り、環境も様変わりしている現在において、旅も今日では大きく様変わりをはじめ、個人で、家族だけで、短期間、身近なところへ、自家用車で出掛けることが多くなってきている。ただ単に旅行したという経験の積み重ねではなくて、その中に必ず体験があり、そのことが生きる力となるような旅にすることが出来たらいいと思う。▲自分を取り巻く小さな集まりだけでなく、もう少し広がった仲間との新しい出会いを求めて旅に出ることとしたいむ。



教育の窓

教育改革の主体

東京農業大学教授
元文部省主任視学官
渡部邦雄

一変化に対応する教師

二〇〇二年六月、世間はサッカーのワールドカップで興奮状態を示している。アジアにおける日韓両国の共同開催も初めてのことだ。映像も世界各地にリアルタイムで配信されている。

社会は大きく変化し、その加速の度合いを強めているのだ。

我々は、国際化、ボーダレス化、高度情報化、価値観の多様化、地球規模での環境問題の発生、少子化、高齢化など多様な変化の中に身を置いている。

学校教育もそれらと無縁ではない。社会の変化は、子どもの意識や教育環境に大きな影響を与えており、変化への対応が緊急課題となっている。

改革は学校週五日制の導入、授業時数の削減と学習内容の精選、総合的な学習の時間の創設、「生きる力」の育成などの重要な教育課題を学校に提示した。

現場の教師はその対応に連日忙殺されている。しかし、教師は変化社会を主体的、創造的に生きていく人間を目指し、「生きる力」を育成しようと必至に頑張っている。

日本の教育を支えるこのような教師に心からエールを送りたいと思う。

二意識改革の推進

改革の実現のためには、教師は従前のような教育観、指導観、学校精神で取り組むことだ。

長年の呪縛から解放されて、思い切った発想の転換を自らに課してみようではないか。

一人の教師として、教育改革の具現のために、自らの主体性を失わず、これまでの経験を生かし、これからの学校教育の在り方を考察して、具体的方策を自分の言葉で表現し実践していこう。

そのことが、教師集団の力量を相乗的に高め、変化社会に対する学校の教育機能を強固なものにするのだ。

「・多くの知識を教え込みがちであった教育の基調を転換して、自ら学び、自ら考える力の育成とは言うが、具体的にどうするのか。

・知的好奇心、探究心を喚起し、主体的に学ぶ能力を育成する指導の在り方とは何か。

・体験的学習、問題解決的学習をどのように展開すればよいのか。

・総合的な学習の時間は、教科書も無ければ、指導内容も示されていない。ねらいを達成するためには、取り上げる学習課題、時期、活動形態、指導体制、配当時数などをどうするか。

・基本的内容の基礎・基本とは何か、その定着をどうするか。

・授業時間数の減少や教科書に見る指導内容の削減の中で、学力低下は必然だとの論にどう応えるのか。

・地域社会や家庭との協働を進め、開かれた学校を作ると言うが、具体策は何か。」

以上のような課題の解答を、他人からもらうのではなく、教師自ら考え、判断すべきである。教師各人は教育改革の主体者であることを実践で証明しよう。

進行中の実践をPDSでなく「S評価→P計画→D実践」のサイクルとして来年度にどう生かすか。

修学旅行実施事例紹介 26

"心育む修学旅行目指して"

千葉県流山市立南部中学校

一　概要

・日　時　5月11日～13日
・行き先　関西方面（京都・奈良）
・日　程
一日目…班別行動で東京駅集合→東京駅→京都駅→学級別行動→旅館（学級別分宿）体験学習。
二日目…終日班行動で奈良入り。夜は薪御能の見学と興福寺での集会。
三日目…奈良公園内を班別行動→京都駅→東京駅→学校
・参加人数　238名（7クラス）
・学級別分宿地
大原　鞍馬　嵯峨野
嵐山　高雄

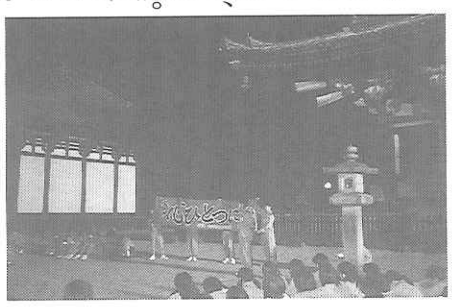
二　職員の願い

わが校では活動を通して「育てる」にあたって、どうしたら活動の成果があがるのか、「感動」と「共鳴」は創り出せるかを重視しています。それが生徒が育っていく時のエネルギーになってくると思います。カギは大人の凝集であり、教職員のみならず、保護者、地域も含めて「理解」とか「信頼」とか「親しみ」とかの雰囲気が溢れていると最高です。そういう雰囲気をつくれることが子供が育つのに価値ある社会と思えるのです。

本校の修学旅行は若い生徒らの可能性を信じて、どうしたら本校の最高学年としての力を高められるのか、個々に本当の自立へ一歩前進させたいとの願いから計画を練り直しながら進めています。

慣れきった活動を変える時は当然のことながらリスクがつきものです。でも、子どもを育てるのに重要なのは指導者の「その気」であり、それを大切にしています。京都と奈良は別宿。2日目の夜は互いが本当に一つになれる結びつきの活動を組みました。その中でこそ自分のクラス、自分の存在が確かめられ、人は誰にもよさがあり、誠実な取り組みが本当に認められるという集団の実現こそが安心して学べる南部中になるのだと訴えてきたものです。

奈良の夜は生の雅楽演奏を取り入れたり、京都は大原、鞍馬、嵯峨野、嵐山、高雄の五カ所を学級別の分宿としたのは生徒、教師ともによくわからずとも心身に蓄積されていくものという感性に訴えての学習ができて幸運でした。



夜の興福寺集会で「心ひとつに」

三　生徒の感想、発言、つぶやきなど

・興福寺集会は大成功。学年のこころがひとつになり、学年目標である「心ひとつに　やまびこのように響きあおう」が達成された。

・興福寺で最高の学級発表ができ、学級が団結した。

・ライトアップされた五重塔は本当に美しかった。そして、下から見上げたあの静寂の中での一分間は生涯忘れられないだろう。

・班別行動の計画の時、班員一人ひとりが見学したいところの希望を言いあえたのでよかった。また、全員の行きたいところに行けた。

・薪御能。最初は後ろで立って見ていたが、ご好意で有料席に入れてもらえた。意味はわからなかったが、日本の伝統を感じた。

・実際に教科書で見たものと同じものが見られて感動した。

・学級の仲間と銭湯に行けて楽しかった。

・百人一首の体験で、授業では習わなかった正式なルールを教わったので、それを学年に広めたい。

四　まとめ

個々に異なる成育歴、特性ある生徒たち、そして保護者の願い、全員が納得しあえる集団をしくむのはなかなかではありますが、「納得のレベル」から「感動や共鳴」にまで高める意気込みで取り組むこと、必ず達成した喜びが信頼に変化するように思えます。心が育ち、自立への歩みが一歩前進するために指導にあたる大人の研鑽は言うに及ばずですが、やはり肝心なことは「その気」と「信頼」の繰り返しが源と思いますが如何でしょうか。

流山市立南部中学校
校　長　鈴木昭夫
三年担当　門脇哲也

日次	行動内容
1	流山駅―（班単位）―東京駅（ひかり）―京都駅＝クラス別行動＝京都（泊） 5:50　8:10　10:53　17:00 6箇所の宿舎に分宿
2	宿舎…京都・奈良市内班別行動…奈良（泊）2箇所の宿舎に分宿 8:50　17:00 《夜、世界遺産の興福寺で薪御能鑑賞と興福寺集会》
3	宿舎…奈良公園・班別行動…近鉄奈良駅―京都駅（ひかり）―東京駅＝学校 7:45　12:27　15:07　15:07

未来の体験学習はここにある。
スペースワールド
&
スペースキャンプ
日本で唯一の本格的宇宙体験施設
スペースワールド®
インフォメーションセンター　TEL093-672-3600
団体予約センター　TEL093-672-3400
〒805-0002 北九州市八幡東区スペースワールド
http://www.spaceworld-inc.co.jp/

南北600Kmを行く
霧島・牧園・栗野・鹿児島・桜島・知覧・指宿・山川・開聞・出水・串木野・川内・宮之城・与論・尾久島・種子島
生きる力を育む
かごしま
●お問い合わせ
鹿児島県教育旅行受入対策協議会
〒892-0821 鹿児島市名山町9－1　㈳鹿児島県観光連盟内
TEL 099-223-5771　FAX 099-225-7484
e-mail: pro.kptf-int@ml.satsuma.ne.jp

古代文化邪馬台国ルート
壱岐へ…

魏志倭人伝に一支国の名で記されている。
古代大陸交流の要としてクニを構えていた壱岐。
イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお薦めします。
壱岐教育旅行受入協議会事務局
九州郵船
TEL（092）281-0831
FAX（092）281-0444
URL http://www.kyu-you.co.jp